

製品名 エアツール用オイル
整理番号 250VH

作成日 2025 年 9 月 17 日
更新日

安全データシート

1 化学品及び会社情報

化学品の名称	: エアツール用オイル
製品コード	:
供給者の会社情報	
会社名	: 京都機械工具株式会社
住所	: 〒613-0034 京都府久世郡久御山町佐山新開地 128 番地
電話番号	: 0774-46-3700
製造者の会社情報	
会社名	: BAN HON INTERNATIONAL,CO.,LTD
住所	: No.58,Gongye W. 1st Rd.,Lukang Township, Changhua County 505-004, Taiwan, R.O.C.
電話番号	:
FAX 番号	:
推奨用途	: 金属工具の回転部分
使用上の制限	: エアツールの内部に用いる潤滑用オイル

2 危険有害性の要約

GHS 分類結果

物理化学的危険性

爆発物	: 区分に該当しない
可燃性ガス	: 区分に該当しない
エアゾール	: 区分に該当しない
酸化性ガス	: 区分に該当しない
高压ガス	: 区分に該当しない
引火性液体	: 区分に該当しない
可燃性固体	: 区分に該当しない
自己反応性化学品	: 区分に該当しない
自然発火性液体	: 分類できない
自然発火性固体	: 区分に該当しない
自己発熱性化学品	: 分類できない
水反応可燃性化学品	: 区分に該当しない
酸化性液体	: 区分に該当しない
酸化性固体	: 区分に該当しない
有機過酸化物	: 区分に該当しない
金属腐食性物質	: 分類できない
鈍性化爆発物	: 分類できない

健康に対する有害性

急性毒性（経口）	: 分類できない
急性毒性（経皮）	: 分類できない
急性毒性（吸入：気体）	: 区分に該当しない
急性毒性（吸入：蒸気）	: 分類できない
急性毒性（吸入：粉じん及びミスト）	: 分類できない

製品名 エアツール用オイル
整理番号 250VH

作成日 2025 年 9 月 17 日
更新日

皮膚腐食性／刺激性 : 分類できない
眼に対する重篤な損傷性
／眼刺激性 : 分類できない
呼吸器感作性 : 分類できない
皮膚感作性 : 分類できない
生殖細胞変異原性 : 分類できない
発がん性 : 分類できない
生殖毒性 : 分類できない
特定標的臓器毒性
(単回ばく露) : 分類できない
特定標的臓器毒性
(反復ばく露) : 分類できない
誤えん有害性 : 分類できない
環境に対する有害性
水生環境有害性 短期 : 分類できない
(急性)
水生環境有害性 長期 : 分類できない
(慢性)

GHS ラベル要素

絵表示 : なし
注意喚起語 : なし
危険有害性情報 : なし
注意書き
[安全対策] : データなし
[応急措置] : データなし
[保管] : データなし
[廃棄] : データなし

3 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 単一物質
化学名又は一般名 : FK AVANTA PN46(3-3014-00)
組成及び成分情報 :

No.	成分	含有量 [%]	CAS 番号	官報公示整理番号 (化審法)
1	水素処理重パラフィン 系石油留分	100	64742-54-7	—

4 応急措置

吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。気分が悪い時は医師の診察、手当を受ける。呼吸器への刺激、めまい、吐き気、または意識喪失が起こった場合は、直ちに医師の診察を受ける。

皮膚に付着した場合 : 皮膚を石鹸を使い、流水、シャワーで洗う。皮膚刺激が生じた場合は、医師の診察／手当を受ける。本製品が皮膚内、皮膚下、または体の内部に入った場合も、創傷の外観や大きさに関わらず、直ち

眼に入った場合	： 眼に医師の診察を受ける。 水で 15 分以上注意深く洗う。コンタクトレンズを着用していて、容易に外せる場合は外して洗浄する。直ちに医師の診察、手当を受ける。
飲み込んだ場合	： 口をすすぐ。吐かせてはいけない。意識の無い人には何も与えない。直ちに医師の診察、手当を受ける。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候及び症状	： データなし
応急措置をする者の保護に必要な注意事項	： 救護者は、自身および他者へのばく露を避け、適切な呼吸保護具を使用する。
医師に対する特別注意事項	： 物質が肺に吸い込まれ、化学性肺炎を引き起こす可能性がある。適切な処置を実施する。高圧で皮膚組織の内部へ注入された場合、重度の障害を起こす恐れがある。

5 火災時の措置

適切な消火剤	： 水霧、耐アルコール性泡消火剤、粉末消火剤、二酸化炭素
使ってはならない消火剤	： 棒状水
特有の危険有害性	： 火災時に刺激性、毒性のガス（硫黄酸化物、アルデヒド、不完全燃焼生成物、煙、ヒューム、一酸化炭素、二酸化炭素等）を発生するおそれがある。
特有の消火方法	： 消火活動による流出や希釈液が河川、下水道、または飲料水源に流入するのを防ぐ。危険でなければ火災区域から容器を移動する。移動不可能な場合は、容器および周囲に散水（水噴霧）して冷却する。
消火を行う者の特別な保護具及び予防措置	： 消火活動は風上から行い、適切な保護具を着用する。消防士は自給式呼吸器および消火装備を着用する。

6 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	： 全ての方向に適切な距離を取り、漏出区域への関係者以外の立入りを禁止する。流出した物質との接触を避ける。危険でなければ漏れを止める。ポンプまたは適切な吸収剤を使用して回収する。作業の際には適切な保護具を着用し、飛散物、蒸気等を吸入しないように風上から作業する。
環境に関する注意事項	： 漏出物が河川、下水道、土壌へ排出されないようにする。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	： 漏洩物を吸着材（おがくず、土、砂、ウエス等）に吸着させ、密閉できる空容器に回収する。回収した漏洩物及びウエス等は、後で産業廃棄物として適正に処分廃棄する。
二次災害の防止策	： 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7 取扱い及び保管上の注意

取扱い上の注意事項	
技術的対策	： 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、必要に応じて保護具を着用する。適切な接地および／または接地手順を行う。ただし、接地および接地を行っても、静電気蓄積による危険性を排除できない場合がある。
安全取扱注意事項	： ガス／ミスト／蒸気を吸入しないこと。保護手袋／保護衣／保護眼

製品名 エアツール用オイル
整理番号 250VH

作成日 2025 年 9 月 17 日
更新日

接触回避 衛生対策	鏡／保護面を着用すること。滑りやすいため、少量のこぼれや漏れを防ぐこと。本製品は静電気を蓄積する可能性があり、電気火花（発火源）を引き起こす可能性がある。
	： 強酸化剤に接触させない。
保管上の注意事項 技術的対策 適切な保管条件 混触禁止物質 安全な容器包装材料	： 取扱い後は手、顔をよく洗い、うがいをする。本製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしない。
	： 容器、梱包は密閉する。施錠して保管すること。
	： 容器、梱包を落下させない。直射日光をさけ、冷暗所に保管する。
	： 強酸化剤
	： データなし

8 ばく露防止及び保護措置

管理濃度	： 設定されていない
許容濃度	
日本産業衛生学会 (2024)	： 設定されていない
ACGIH (2021)	： 設定されていない
厚生労働大臣が定める濃度 基準値 (8 時間)	： 設定されていない
(短時間)	： 設定されていない
設備対策	： 取扱い場所の近くに手洗い、うがい、眼の洗浄及び身体洗浄のための設備を設置する。作業場には全体換気装置、局所排気装置を設置する。
保護具	
呼吸器保護具	： リスクアセスメントを実施し、ミスト、蒸気の吸入の可能性がある場合、規格に適合した適切な呼吸用保護具（防毒マスク）を着用する。
手の保護具	： 規格に適合した適切な不浸透性の保護手袋等を着用する。摩耗または損傷した手袋は点検し、交換すること。
眼及び／又は顔面の 保護具	： 規格に適合した適切な保護眼鏡等（普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型）を着用する。
皮膚及び身体の保護具	： 必要に応じて個人用の保護衣、保護面を使用する。
衛生対策	： 取扱い後は手、顔をよく洗い、うがいをする。本製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしない。作業服と保護具は定期的に洗濯し、汚染物質を除去し、洗浄できない汚染された衣類や履物は廃棄すること。適切な清掃を実施すること。

9 物理的及び化学的性質

物理状態	： 液体
色	： 無色
臭い	： 軽い刺激臭
融点／凝固点	： データなし
沸点又は初留点及び沸点 範囲	： データなし
可燃性	： データなし
爆発下限界及び爆発上 限界／可燃限界	： 0.6%（爆発下限） 7.0%（爆発上限）

製品名 エアツール用オイル
整理番号 250VH

作成日 2025 年 9 月 17 日
更新日

引火点	: 236°C (ASTM D-92)
自然発火点	: データなし
分解温度	: データなし
pH	: データなし
動粘性率	: 46cSt (40°C)
溶解度	: 水に不溶
n-オクタノール／水分配係数 (log 値)	: データなし
蒸気圧	: <0.1mmHg (20°C)
密度及び／又は相対密度	: 0.862 (15°C)
相対ガス密度	: データなし
粒子特性	: データなし
その他のデータ	: データなし

10 安定性及び反応性

反応性及び化学的安定性	: 通常の取扱条件下では安定。
危険有害反応可能性	: 危険な重合は発生しない。
避けるべき条件	: 過度の熱、火花、炎、静電気、高エネルギー発火源等
混触危険物質	: 強酸化剤
危険有害な分解生成物	: 火災時に刺激性、毒性のガス（硫黄酸化物、アルデヒド、炭素酸化物、不完全燃焼生成物、煙、ヒューム、一酸化炭素、二酸化炭素等）を発生するおそれがある。

11 有害性情報

製品の有害性

急性毒性（経口）	: 分類できない ウサギの LD50 値、>15000 mg/kg (RTECS (1997)) は区分外に該当するが、リスト 3 のデータしかなく分類できない。
急性毒性（経皮）	: ウサギの LD50 値、>5000 mg/kg (RTECS (1997)) は区分外に該当するが、リスト 3 のデータしかなく分類できない。
急性毒性（吸入：気体）	: 区分に該当しない GHS 定義による気体ではない。
急性毒性（吸入：蒸気）	: 分類できない(データなし)
急性毒性（吸入：粉じん及びミスト）	: 分類できない(データなし)
皮膚腐食性／刺激性	: 分類できない(データなし)
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	: 分類できない(データなし)
呼吸器感作性又は皮膚感作性	: <u>呼吸器感作性</u> 分類できない(データなし) <u>皮膚感作性</u> 分類できない(データなし)
生殖細胞変異原性	: 分類できない in vivo の試験データがなく、複数指標 in vitro 変異原性試験の陽性結果もないので分類できない。なお、Ames 試験 (OECD TG471; IUCLID (2000)) は陰性であった。
発がん性	: 分類できない IARC が高精製のミネラルオイルをグループ 3、無精製、中程度の

精製ミネラルオイルをグループ 1 としており (IARC 33 (1987))、 精製度によって区分が異なる。本物質の精製度が不明であることから 分類できないとした。	
生殖毒性	: 分類できない(データなし)
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	: 分類できない(データなし)
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	: 分類できない ラットの 28 日間の吸入試験 (ミスト: 50、210、1000 mg/m ³ 、90 日換算値: 0.017、0.07、0.33mg/L) において、ガイダンスの区分 2 に相当する 0.33mg/L の用量で肺重量変化や肺胞壁の肥厚 (OECD TG412; IUCLID (2000)) などの影響が見られているが、 体重の減少などの一般症状の変化は観察されず、他にデータがなく データ不足で分類できない。
誤えん有害性	: 分類できない 動粘性率が不明のため、分類できない。ただし、摂取時または嘔吐 時に少量の液体が肺に吸い込まれると、化学性肺炎または肺水腫を 引き起こす可能性がある。

12 環境影響情報

製品の環境影響情報

生態毒性	
水生環境有害性 短期 (急性)	: 分類できない(データなし)
水生環境有害性 長期 (慢性)	: 分類できない(データなし)
残留性・分解性	: 本質的に生分解性があると想定されている。溶解度が低く流動性が あり、水から陸地へ移行すると想定されている。底質および廃水 固形物に分配されると想定されている。
生物蓄積性	: 生体蓄積性があるが、代謝または物理的特性により生体濃縮度が低 下したり、生体内利用能が制限される可能性がある。
土壤中の移動性	: 土壌を通過する可能性は低い。
オゾン層への有害性	: 分類できない データ不足のため
他の有害性	: データなし

13 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に処理を委託 する。
汚染容器および包装	: 空容器、梱包を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分 する。都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に処理を 委託する。容器を加圧、切断、溶接、ろう付け、はんだ付け、穴あ け、研磨したり、熱、炎、火花、静電気、その他の発火源にさらし たりしないこと。爆発して傷害や死亡事故を引き起こす可能性があ る。

14 輸送上の注意

製品名 エアツール用オイル
整理番号 250VH

作成日 2025 年 9 月 17 日
更新日

国連番号	:	該当しない
品名	:	該当しない
国連分類（輸送における危険有害性クラス）	:	該当しない
容器等級	:	該当しない
海洋汚染物質	:	該当しない
MARPOL73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質	:	該当しない
緊急時応急措置指針番号	:	該当しない
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策	:	包装等に漏れがないことを確かめ、転倒、落下、損傷などが内容に積込み、荷崩れの防止を確実に行う。

15 適用法令

労働安全衛生法（安衛法）	:	名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第 57 条、施行令第 18 条第 2 号、規則別表第 2）（鉱油：番号 581） 名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2 第 2 号、規則別表第 2）（鉱油：番号 581） 危険性又は有害性等を調査すべき物（法第 57 条の 3）（鉱油）
毒物及び劇物取締法（毒劇法）	:	該当しない
化学物質排出把握管理促進法（化管法）	:	該当しない
消防法	:	危険物第 4 類引火性液体 第三石油類非水溶性液体 危険等級Ⅲ（法第 2 条第 7 項危険物別表第 1）

16 その他の情報

参考文献：

- 1) JIS Z 7252:2019 GHS に基づく化学品の分類方法／日本規格協会（2019.5.25）
- 2) JIS Z 7253:2019 GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法－ラベル，作業場内の表示及び安全データシート（SDS）／日本規格協会（2019.5.25）
- 3) 化学物質総合情報提供システム（NITE CHIRIP）
（https://www.nite.go.jp/chem/chrip/chrip_search/systemTop）
- 4) 許容濃度等の勧告（2024 年度）／日本産業衛生学会
- 5) － G H S 対応－化管法・安衛法・毒劇法におけるラベル表示・S D S 提供制度（2024 年）
（<https://www.mhlw.go.jp/new-info/kobetu/roudou/gyousei/anzen/130813-01.html>）
／経済産業省、厚生労働省
- 6) 職場のあんぜんサイト（<https://anzeninfo.mhlw.go.jp/index.html>）／厚生労働省

引用文献・参考情報

本データシートは、日本工業規格 JIS Z 7253:2019「GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法－ラベル，作業場内の表示及び安全データシート（SDS）」に準じて作成しており、製品の安

製品名 エアツール用オイル
整理番号 250VH

作成日 2025 年 9 月 17 日
更新日

全な取扱いを確保するための「参考情報」として、現時点で弊社の有する情報を取扱事業者（ユーザー）にご提供するものです。記載内容は、現時点で入手できた資料、情報、データ等に基づいて作成しましたので、新しい知見により改訂されることがあります。

この情報は材料、製品に関するものであり、この材料が他の素材と組み合わせられたり、処理されたりした場合については想定しておりません。この材料を適切に使用する最終的決定の責任、及びこの情報を取扱事業者独自の取り扱いに適合させ完全で満足できるものとする責任は、取扱事業者にあります。

本データシートは必ずしも製品の安全性を保証するものではなく、弊社が知見を有さない危険性、有害性の可能性がありますので、取扱事業者はこれを参考として、個々の取扱い、用途、用法等の実態に応じた安全対策を実施の上、お取扱い願います。

特に医療機器・医療用途、食品接触部材用途、玩具用途については、その要求特性に対する安全性や適合性等について、貴社の責任でリスクアセスメントを行ってご判断下さい。